

下京のひびき

市民しんぶん 下京区版 11/15

推計人口 70,192人
男 32,723人
女 37,469人
世帯数 31,247世帯
(平成8年10月1日現在)

等しく豊かで自由に生きる

12月 は 人権月間

1948年(昭和23年)12月10日、第三回国連総会において、人が人を差別することの不合理を訴え、人権を守ることこそが世界平和の土台であることをうたった「世界人権宣言」が採択されました。以来、この日は「人権デー」と定められました。

わが国でも、12月4日から10日までの1週間を人権週間と定め、京都市では12月を人権月間と位置付けています。

人は生まれながらにして平等であり、等しく豊かで、自由に生きる権利をもっています。しかし、今日、なお、同和問題を始める、さまざまな差別が存在しており、現実には差別に苦しんでいる人がいます。

下京区では、人権月間の取組として、生きていることの尊さと人権尊重の重要性を考え、市民が力を合わせて、みんなが生きる喜びを感じられる、明るい社会を築いていくための機会となることを願って、下記の催しを行います。ぜひ、ご参加ください。



昨年の人権啓発ポスター展小学生の部最優秀作
前田平宗君(現洛央小2年生)の作品

季節のたより11月

＝イチョウ＝

イチョウは中国原産のイチョウ科の落葉高木。全国各地の神社や寺、学校、公園、街路樹などに植えられている。高さ30～45mに達し、葉は扇形で、幅5～7cm、葉柄を貝え、秋、黄変する。

雄雌別のもで雌の木には、秋に丸い種子が熟し、外側の黄色い皮は大変臭い。その内側がギンナンで、食用にされている。



写真提供 鳥井理一郎さん(豊園学区)

人権を考えるつどい

講演会

日時 12月3日(火) 午後2時から
会場 山一ホール(京都山一証券ビル6階・四条通堺町北東角)

講師 シナリオ作家・丘乃れいさん
演題 「人権尊重を願って 全ての人が幸せに生かされる社会を！」



丘乃れいさん
11月20日(木)から区役所1階地域振興室で配布します。

小・中学生による

人権啓発ポスター展

日時 11月30日(土)～12月3日(火)
午前10時～午後7時
会場 京都近鉄百貨店1階アトリウム

下京の夢乗せて行進

京都まつり 区民パレード隊



樹本市長の声援を受け、御池通を行進する下京区のフロート

今年で3回目となる京都まつり都大路パレード。総勢240名の下京区民パレード隊は、「汽笛一声 京都駅 未来へ向かってドリーム号」をテーマに、元気いっぱい御池通を行進しました。今月は参加者の皆さんのお話を紹介します。

《子供隊》

一年に一回の京都まつり。いい思い出となりました。いつのまにか知らない人と友達になったこと、運命のお姉さん、お兄さんの

動会などとは、ちょっと違う演奏もすばらしかったです。

鎌田有香(淳風学区)

《七条中学校吹奏楽部》

3年生が抜けてから、1・2年生だけの初めての出演だったけれど、なかなかいい演奏ができたので良かったです。行進はうまくいかなかったけれど、華やかなパレードの一部として、参加できて良かったと思います。

三木悠記子(七条学区)

《女性会踊り》

錦秋青空の下、時代の波をあびながら、今年も京都まつりのパレードに荒磯の浴衣に緋の袴を片袖出して女性会69名が参加させて頂きました。扇子の赤白が鮮やかに染え容姿、列と

共に整って他区と同じく、上々の気分と自負いたしております。

岸田多積(豊園学区)

《貴婦人》

華やかな衣装に身を一つみ、各地からの参加者や観客で都大路はうめつた。



華やか女性会メンバーの踊り

正しく使おう暖房器具

火災防止 チェックは厳重に

★室内で飼っていた小犬が、被覆が破損した暖房器具を多く使うシーンを迎えます。暖房器具は冬を暖かく過ごせる便利な器具ですが、ちょっとした不注意や、正しい取扱いを怠ったために、火災が発生しています。

平成7年の火災原因別では放火(疑いを含む)、たばこ、天ぷらなべ、暖房器具、たき火、火遊び等の順となっています。

暖房器具の防火のポイントは①場所が危険でないか②器具は安全か③使い方は正しいか④後始末は完全か⑤4つです。

平成7年度に起きた火災の事例を紹介します。

★電気ストーブを点火して、飲酒のうえ就寝し、寝返った際に寝具の枕が接触し出火した。

★壁のコンセントから延長ケーブルが垂れ下がり、燃焼筒に接触してファンヒーターの電源コードが家具の背骨で押しつけた状態で使用し出火した。

★石油ストーブの固定タンクに給油する際、使用した



電動ポンプが停止しなかったため、あわてて引き抜いた際に飛び散った灯油が燃焼筒にかり出火した。

★使用していた電気ストーブを外出する際、消さずにこたつ布団近くに移動させたため、発火温度に達し出火した。

これから、ますます寒くなりますが、次のことを心がけて暖房器具を使用し、快適にお過ごしください。

《火災防止の心がけ》

- ★カートリッジ式タンクのキャップは正しく確実に締める。
- ★火をつけたままの給油や移動をしない。
- ★カーテンなど燃えやすい物のそばで使用しない。
- ★給油時に漏れた油はよくふき取る。
- ★芯の出しすぎに注意する。

★耐震自動消火装置付のものを使用し、こまめに手入れや点検をする。

★耐震自動消火装置は必ずセットしておく。

分ければ資源、混ぜればゴミ

空きびん 分別収集実施中!

10月1日から、従来の空き缶に加え、空きびんの分別収集を始めました。市民の皆さんの協力をいただいています。が、まだ、一部で分別収集の対象外のものが混じっていることがあります。次の点にご注意のうえ、ご協力をよろしくお願いします。



《出すときの注意》

●分別収集の対象は、飲料水、食品用の空き缶・

●袋は片手で持てる程度の重さをお願いします。

●割れているびん、飲料

用・食品用以外のびん、コップ、陶器類などは、分別収集の対象外です。で厚紙などに包んで家庭

ごみに出してください。

●板ガラスは、厚紙に包みひもでくくって「ガラス」など書いて、家庭ごみに出してください。

●注射針や針などは、絶対に空き缶や空きびんの中に入れてください。収集時や選別時に職員がけがをする重大事故が多発しています。

●注射器・注射針は必ずかかりつけの医師などに返却してください。

●ビールびん、お酒の1升びん、牛乳びんなどは、繰り返し使えるびんは、回収している販売店に返却してください。

わがまち

再発見



▶11◀

栗嶋堂

(宗徳寺)
(岩上通塩小路上)

境内に蕪村の句碑

栗嶋へ

はたしまありや
春の雨

与謝蕪村

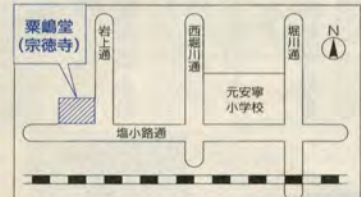


与謝蕪村の句碑

上の句は、俳人でありまた画家としても有名な与謝蕪村が、娘の病氣平癒祈願のために栗嶋堂に参拝したときに、春雨に濡れながら裸足でお百度が紀伊の国の淡島から粟

いつごろ蕪村が栗嶋堂を訪れたかはわかりませんが、婦人病の神さまとして、女性の厚い信仰を受けています。

場所、堀川通の喧騒から少し塩小路通を西にはいったところで、蕪村の句碑もあります。



栗嶋堂(宗徳寺)

区内の催し

11/15~12/14

日 時	催し名(場 所)	主 催
11/16(土) 13:00~	第3回文化祭 崇仁の文化まちづくり% (崇仁屋内体育施設)	崇仁文化遺産を守る会 崇仁まちづくり推進委員会
11/17(日) 10:00~	菊浜学区自主防災訓練 (元菊浜小学校)	菊浜自主防災会
10:00~	下京区小学校対抗ドッジボール大会 (大阪ガス体育館)	七条・五条・堀川少年補導 委員会他
11/24(日) 9:00~	七条区民バレーボール祭 (七条小学校体育館)	七条体育振興会

*10月上旬現在編集部で把握している催し。詳しくは主催者へ。

わが町 下京

写真サークル「フォト楽友」グループ展を開催

下京区ふれあい事業実行委員会では、ふれあい事業の一環として、お年寄り同士の話題作り、仲間作りを目的に写真サークル「フォト楽友」を結成。現在20名の会員が活動しています。

このたび、「わがまち 下京」をテーマに、日頃の成果を披露し、区民の皆さんに下京の町を紹介していますので、ぜひともお立ち寄りください。

月 日 11月19日(火)~24日(日)
時 間 午前10時~午後4時30分
場 所 寺町画廊(寺町通四条下る福居屋果物店2階)
入 場 無料
問合せ 区役所地域振興室



ふれあい銭湯

介助ボランティアを募集します

ふれあい銭湯とは...

地域のたすけあいの活動として、今回、島原温泉さんのご厚意のもとに広い浴場でゆっくりと入浴していただくというものです。

入浴ボランティアとは...

利用者が安心して入浴していただけるようお世話していただきます。例えば、体の不自由な方への着脱の介助や、利用者が浴室内で転ばないように、浴室内や湯船などでの介助です。

いつ行われますか...

- ①平成8年11月21日(木)
- ②平成9年1月16日(木)
- ③平成9年3月20日(祝)

時間はいつでも、午前10時~正午です。

申込み・問合せは...

下記までお願いします

淳風学区社会福祉協議会長
伊藤義浩(☎341-5571)
浴場組合下京支部長
小原久夫(☎313-2343)
下京区社会福祉協議会(☎361-1881)

学区紹介

永 松

同窓祭 今にもぎやか

第11回目は永松学区です。自治連合会の山本米太郎会長にお話を伺いました。

◇学区の地理と沿革

永松学区は、区内の東北部に位置し、おおよそ、北は四条通、南は五条通、東は鴨川、西は河原町通に囲まれた地域です。



学区内を 廃校となった永松小学校河原町通、木屋町通、四条通が縦横に走り、市内有数の繁華街を形成し、木屋町通沿いに高瀬川が流れています。

もともとこの地域は、祇園社の参詣路としてにぎわった四条通沿いを除いて多くは河原でした。しかし、豊臣秀吉のお土居築造により、町地と河原が二分され、次いで慶長16年(1611)、高瀬川が角倉了以による開削、また寛文10年(1670)に鴨川両岸に石堤が築かれると、急速に町地として開発されました。

これらの町が、高瀬川の水運にかかわる商家が多かったことは、木屋町通・材木町・船頭町など通り名・町名からもうかがえます。

◇永松小学校

小学校は、明治2年(1869)に下京第

十二番組小学校として開校しました。校名は、明治8年(1875)の頃、一般に募集されて平安京の永昌坊と松原通からとった永松(えいしょう)となり、のちに「ながまつ」と転じたものといわれています。

また、昭和18年(1943)に単独高等小学校に、次いで昭和20年(1945)11月米国進駐軍教育機関設置のため全校舎接収されたため、昭和25年(1950)9月までの間、児童は開智・有隣小学校に分散通学することになりました。

永松小学校も最盛期には600人近い児童がいましたが、商業地域の中心部のため急速に住民の流出が進み、昭和50年代には児童が100人を割り込むようになりました。

昭和57年(1982)に育友会から自治連合会

に『子どもたちの将来の教育を考えた統廃合』の要望書が出され、自治連合会が市教育委員会と協議して、昭和58年(1983)に開智小学校と統合されました。小学校の跡地には、皆さんの協力によって永松の名を冠した、永松記念教育センターが造られました。

◇学区の活動

学区では、小学校の同窓会を中心に毎年5月第3日曜日に永松同窓祭を開いています。当日は、学区民だけでなく、学区を転出された方の参加もあり、にぎやかに行われます。

自治連合会では、今後も『主役は住民』を基本姿勢に、住民の声を素早く受け止め、答えられるように運営していきたいと考えています。

各種団体紹介

民生児童委員会

喜びのある町を目指して

今回は、下京民生児童委員会です。渡辺洞曉会長にお話を伺いました。

現在、区内で178人の民生児童委員と24人の主任児童委員が厚生大臣の委嘱を受け、高齢者・身体障害者・知的障害者・児童・母子家庭に関する福祉業務や生活保護世帯に関する業務について、地域と行政とを結ぶパイプ役として活動しています。なお、高齢者世帯の安否確認を主な業務とする82名の老人福祉員と力をあわせてがんばっています。

——民生児童委員の活動を教えてください。

「民生児童委員の職務の一つに、援護を要する世帯の調査・支援があります。特に一人暮らしのお年寄りとのふれあいと、元気に暮らしておられるかを確かめる方法として、『花ふれあい事業』を行っています。これは老人福祉員の協力も得ながら、一人暮らしのお年寄りに、花の種と土とプランターを贈り、家に閉じこもりがちなお年寄

りに花を育てることをとおし、ご近所や民生児童委員・老人福祉員とふれあう機会づくりに役立っています。」



プランターを囲んで

——最後に区民の皆さんに一言お願いします。

「高齢化が進む下京区では、地域福祉・在宅福祉の充実を目指す『ゴールドプラン』や少子化対策として子育て家庭支援とそのネットワーク作りのための『エンゼルプラン』が策定されている中で、民生児童委員の果たすべき役割はますます重要になっています。

私達の町下京が、楽しみだけでなく喜びのある町、幸せに暮らせる町になるよう、区民の皆さんとともにがんばります。」

新春の家庭を彩る

年の瀬も日に日に近づいてきた今日この頃、師走のあわただしさの中にも、清々しく新年を迎えたいものです。

このたび、新春の家庭に華やきを添える「区民ちぎり絵教室」と「区民いけばな教室」を次のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

区民ちぎり絵教室

月 日 12月4日(水)・11日(水)
時 間 午後1時30分~4時
場 所 区役所4階会議室
テ ー マ 来年のえと・花
指 導 しゅんこう和紙ちぎり絵
川村光子先生
受 講 料 3,000円(材料費)
募集人員 30名

申込みは、2教室とも、受講料を添えて11月18日(月)午前8時30分から区役所地域振興室に申し込んでください。

主催 下京区民文化懇話会 問合せ 区役所地域振興室

区民いけばな教室

月 日 12月25日(水)
時 間 午後2時~4時
場 所 区役所4階会議室
テ ー マ お正月をいける
指 導 池坊総華督 山本梅花先生
受 講 料 3,000円(材料費)
募集人員 50名

編集部から

編集部では「下京のひびき」で取り上げてほしいことなど、皆さんの声を募集しています。

送付先 区役所地域振興室下京のひびき 編集部(〒600下京区西洞院通塩小路)上る)